

すべての人の自立と平等を目指して……

すすめる会

特定非営利活動法人あおり男女共同参画をすすめる会会報☆第35号

発行 2020年3月25日

特定非営利活動法人

あおり男女共同参画をすすめる会

携帯電話 090-6680-1375(平日9時～18時)

メール nakama@actv.ne.jp

ホームページ <http://ahs.aomori.jp/susumerukai/>

《指定管理者事業問い合わせ先》

〒030-0801 青森市新町1丁目3番7号アウガ5F

青森市男女共同参画プラザ「カダール」

TEL 017-776-8800(平日9時～18時)

FAX 017-776-8828

令和2年度すすめる会 総会 5月23日(土)に開催決定!!



詳細につきましては4月にご案内はがきを郵送いたしますので
ご確認ください。

ご多忙とは存じますが、是非ともご都合をつけていただき、多数
ご参加いただけますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

【会場】 青森国際ホテル(予定)

指定管理者 評価結果について

「令和元年度も全評価項目において
適正と認められました」

当法人は指定管理者として「青森市
男女共同参画プラザ」及び「青森市働
く女性の家」の管理運営を行っていま
す。今年度は令和元年7月(前期)と
12月(後期)に、担当課によるヒアリン
グと実地調査を経て、管理運営状況の
確認・検証をした結果、『施設の管理
状況、事業の実施状況ともに良好』と
の総合評価をいただきました。

令和2年度事業計画(案)

●目的

誰もがその人らしく主体的に生きら
れる社会づくりに寄与することを目
的とする「男女共同参画社会の形成
の促進を図る活動」を行う。

●基本方針

I. 法人独自の活動と部会の活動をさ
らに積極的に行う。

II. 指定管理事業(青森市男女共同参画
プラザ・青森市働く女性の家)の継
続と強化を図る。

～理事会だより～

理事長 千田 晶子

会員の皆様には、新型コロナウイルスの感染
予防対策で混乱と不安の毎日をお過ごしのこと
と思います。

理事会も新年度に向けて準備を始めていると
ころですが、ウイルス対策のめどが立たず例年
通り進めることができないのが現状で
す。総会時に開催する恒例の記念講演会は見合
わせ、会員の交流会だけは開催できないかと思
案しているところです。

詳細は4月に総会開催案内とともにお知らせ
しますので、ご了承のほど、よろしくお願いい
たします。

皆様のご健康を心からお祈りしております。

じゃらん・じゃらんカフェ

春の訪れとともに、カフェも再開しま～す☺

新年度は新しく「スマホ何でも相談」を始めます。新しく
スマホにしたけど、今いち分らない操作の仕方などを丁寧
に教えてくれるのは、山口睦子さん。

コーヒーを飲みながら、あれやこれやを遠慮なく聞いま
しょう。本の推薦や貸し借りも継続して行います。



●開店日日程●

4月18日(土) 12:00～16:00 ワーク1

5月 お休みします。総会に参加しましょう。

6月20日(土) 12:00～16:00 ワーク1

7月18日(土) 12:00～16:00 ワーク1

※参加の際は、事前に開催日程をご確認ください。

以降の日程は会報をご覧くださいね。店主 藤川あきつ

カダールフェスタ 2020 に全部会 + α が参画しました！

1月25日(土)～2月2日(日)

企画・クリエイティブ部会

2月1日(土) AV 多機能ホール

研修・交流部会

2月2日(日) AV 多機能ホール

「青森をテーマにした朗読会 vol.7～様々なカタチの愛～」

今年で7回目を迎えた青森をテーマにした朗読会。100名を超えるお客様の中、盛大に開催されました。出演者はプロのアナウンサーを含めた様々な分野から、青森に関わりのある方々が県内外からご参加いただききました。「昨年より更にレベルアップした」との声をたくさんいただき、充実した活動となりました。(部会長 千代谷直美)



シネマ部会

1月31日(金) AV 多機能ホール / 研修室

「カダール de シネマ

『女を修理する男』上映会&シネマカフェ」

今回のテーマは「性暴力」。2018年ノーベル平和賞を受賞したコンゴのディ・ムクウェゲ医師を追ったドキュメンタリー映画『女を修理する男』です。彼は暗殺未遂に遭いながらも、4万人を超える性暴力被害者を治療し、精神的ケアを施し続けてきました。さらに国連などで演説を行い、女性の人権尊重を訴えてきました。レイプの背景には携帯電話にも使用される鉱物をめぐる紛争があり、決して遠い国の話ではないことを参加者と確認しました。時事性の高いテーマだったこともあり、101名の集客、上映後のシネマカフェでも活発に感想を語り合い、充実したイベントとなりました。(部会長 阿部 美智子)



R's family

2月2日(日) 小会議室

「大人かわいい人気のドールチャーム 『ルルべちゃん®』認定講師によるワークショップ」

昨年“ルルべちゃん認定講師資格”を取得し、今回初めて「ルルべちゃん®ワークショップ」を開催しました。皆さん初めての参加でしたが、髪の毛やワンピース、帽子、リボン、靴、バッグのコーディネートでそれぞれ個性のかわいいルルべちゃんが出来上がり、楽しい2時間となりました。(会員 田中 真紀)



「第5回あおもり男女共同参画川柳かるた世界大会」

2月2日、「第5回あおもり男女共同参画川柳かるた世界大会」が開催されました。日本人だけではなくインドやインドネシア、ベトナム人チームからも申し込みがあり、世代も性別も国境も越えて10チームが参加しました。各チームアイデア満載の衣装やコスプレで参加し、中には華やかな民族衣装を着ての参加者もありました。私は初めて司会を任せられてとても不安でしたが、会場には各チームの声援や笑い声が響き渡り、とても盛り上がりしていました。大会の合間には、日本の文化体験の一環としてかるたゲームにチャレンジしてくれた留学生チームヘインタビューもできました。また審判団の素早いジャッジには感心しました。表彰式では全参加チームに賞を贈呈し、国境を越えた交流を深め、改めて準備してくれたスタッフ、喜んで参加していただいたチームの皆様に感謝です。人との交流の大切さを認識させていただき、ありがとうございました。(部員 猿田 春美)



心とからだの健康を考える部会

1月28日(火) 研修室

「介護の基本の『き』～大好評につき第二弾開催～」

令和元年度カダールフェスタで「なかなか聞けない介護の基本の『き』第二弾」を令和2年1月28日(火)に開催しました。カダール研修室で健康部会員でもあり、油川で介護施設を営んでいる大山由紀子さんを講師に、参加者30人と膝と膝を突き合わせたような、濃密な時間を共有しました。参加者の大半はシニア世代。自分や家族がいずれ通過するであろう介護について、「自分の生き方は自分でできる」を再確認した時間となりました。(部会長 堀内 美穂)



オープニング(指定管理者事業)

1月25日(土) AV 多機能ホール

「昭和、平成、令和も みんな楽しく！ウエルカムライブ 2020@カダール」

19回目のカダールフェスタ。昨年のフェスタの様子と、今年度参加する団体のPR映像でオープン。今年は45団体の皆様が男女共同参画の視点を意識して65の企画で参画してくださいました。カダールがオープンした日、1月26日を記念して開催した九日間。オープニングのメインイベントは、地元で活躍する3つの音楽ユニット、「222トラストバンド」、「FUMIYA」、青森市観光大使の「GMU」による華やかなライブコンサートでした。まさに、性別を超え、時代を超え、212人の参加者が一体となり楽しみました。最後は未来に向かって頑張るすべての人への応援ソング「パブリカ」を歌って踊り、感動と元気溢れるオープニングイベントとなりました。(理事長 千田晶子)



今年は弘前へ研修旅行に行きました

11月10日は大変天気が良く、集合場所の青森駅交番前から出発したバスは弘前までの見慣れた景色すら新鮮な気持ちで旅をワクワクさせてくれました。盛り沢山のスケジュールはあっという間に過ぎ研修旅行は充実した一日でした。

●丸富川崎染工場

染カメが現在残っているいきさつ、「アイ」の染料としての効果効能、そして染工程の複雑な温度管理、すべてが感動の体験でした。製作した藍染ハンカチは殺菌効果を発揮するそうです。

●カフェ山崎

学生街の雰囲気満載のテラスでは学生さんがランチをしている素敵なお店。いただいたハンバーグは当然、家庭でいただくものとは比べものにならないお味でした。会話も弾み満腹度は★★★★★でした。

●ヒロロ

上野千鶴子先生にお会いでき先生語録の数々にポジティブさと柔らかい思考力を持つ楽しさを感じました。大学生の質問に答える先生の表情にサバイバル感が和み、いつかまた会ってお話を聞きたいと思いました。

●道の駅なみおか アップルヒル

夕暮れの中、写真撮影となり「もっと早めに写真撮ればよかったのに」と口々に反省し、楽しい研修会が終了。実りある交流の場になりました。

(研修・交流部会 木村 みどり)



～「理事と語る会」を開催しました～

3月7日(土)10時から、カダール企画ワーク3・4で、「理事と語る会」を初めて開催し、理事を含めて6人が集まりました。特にテーマは定めずにスタートしたのですが、部会活動のこと、会全体の情報共有のアイディアなどを語り合ううちにあっという間に時間が過ぎていきました。「会議」や「打ち合わせ」も大切ですが、ざっくばらんで自由な「語り合い」も必要で、何より楽しいと感じることができたひと時でした。(副理事長 篠崎 有香)

HAPPY WOMAN FESTA AOMORI 2020 フラワーデモヘメッセージを

3月8日は国際女性デー、青森市でフラワーデモが初開催となる予定でした。残念ながら新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、すすめる会ではメッセージを託していました。

☆フラワーデモとは

2019年3月に相次いだ性暴力の被告への無罪判決に抗議し、性暴力を許さない、被害者に寄り添い手を取り合う #WithYou #WeToo の声上げるための活動。参加者は象徴として花や花が描かれたメッセージを持ち寄っている。



会員数 「正会員」	2020. 3. 25 現在
	女性 131名
	男性 42名
「賛助・特別会員」	39名

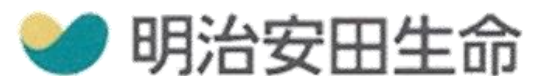
●特別会員

◆横浜国立大学都市イノベーション研究院 教授 江原 由美子 様	
◆弁護士 沼田 徹 様	
◆青森中央短期大学学長 久保 薫 様	

賛助会員 (順不同)

・小豆畑 緑 様	・貝森 敦子 様
・関 昭子 様	・千葉 あさ 様
・中村 富子 様	・橋本 尚美 様
・成田 有子 様	・松田 恵子 様
・松山 佳子 様	・牧野 徹 様
・青森中央学院大学 様	
・青森中央短期大学 様	
・ネットワークA・L 様	
・青森オフセット印刷株式会社 様	
・青森ケーブルテレビ株式会社 様	
・青森ヒューマンシステム株式会社 様	
・青森三菱自動車販売株式会社 様	
・青森三菱電機機器販売株式会社 様	
・青森国際ホテル 様	
・株式会社エール・キャリアスタッフ 代表取締役 田中 正子 様	
・株式会社 協同 様	
・株式会社日専連ホールディングス 代表取締役 木村 哲夫 様	
・株式会社 ファイブ・ワン 様	
・株式会社 みちのく銀行 様	
・長尾印刷株式会社 様	
・日乃出タクシー株式会社 様	
・富国生命保険相互会社青森支社 様	
・不二印刷工業株式会社 様	
・みちのくコカ・コーラボトリング株式会社 青森営業所 様	
・株式会社 青森銀行 様	
・有限会社ビックジャパンカースーパー 様	
・青森県信用組合 駅前支店 様	
・青 音 白鳥のみ子 様	
・有限会社 二階堂 代表取締役 二階 隆光 様	
・株式会社 北都 代表取締役 工藤 信孝 様	
・明治安田生命 青森支社 青森観光通営業所 様	

賛助会員 PR コーナー



青森支社 青森観光通営業所

『男女共同参画都市』青森宣言

私は私を大切に思うのと同じ重さで
あなたを大切に思う

性別を超え
世代を超え
時代を超え
人と協調し 人を信頼できる
誇り高い人間でありたい

すべての人の自立と平等をめざして
青森は ここに「男女共同参画都市」を宣言します

平成8年10月22日

部会だより「一年を振り返って」

◆研修・交流部会◆

部会長 鈴木 重一

「んでねでは、おどごもおなごもふとずだの」で始まった、第5回あおもり男女共同参画川柳かるた世界大会が10チーム（うち海外4チーム）の参加で熱戦を繰り広げ、親子チーム優勝で幕を閉じました。

この大会は、我々、研修・交流部会のみなさん、そして参加してくれたチームのみなさんなどのチームワークが、感動の時間をもたらしてくれたと思います。令和元年の目標は、ともかく楽しい部会にしようというスタートし、研修旅行、アピオ秋祭りなど楽しい1年でした。

◆シネマ部会◆

部会長 阿部 美智子



またまた今年度も、1月のカダールdeシネマに全エネルギーを注ぎ込んだシネマ部会です。

選んだ作品は、『女を修理する男』。ノーベル平和賞を受賞した婦人科医のドキュメンタリー映画ということで関心度が高く、100人を越える方に参加いただきました。

上映後のシネマカフェでは、性暴力という重いテーマにもかかわらず多くの方に残っていただき、コーヒーを片手に映画の感想を自由に語り合う共有の時間を持つことができました。

次年度もアンテナを常に張って作品選に励みたいと思います。

◆企画・クリエイティブ(部)会◆

部会長 千代谷 直美

今年の大きな活動は、10月の茶話会スペシャル「ピンククリボンイベント」と2月の青森をテーマにした朗読会です。

部会員はそれぞれの多忙な仕事を持っていますが、毎月1回の部会を開催し、イベントの企画や反省会を含め会の活動に努めました。

今年度は、これまで継続してきた活動の集大成となるイベントを開催した1年となり、新しい気持ちで次のステップへ繋げていきたいと思っています。

◆心とからだの

健康を考える部会◆

部会長 堀内 美穂



また、この時期がやってきました。本場に時が過ぎるのは早いと実感しています。

すすめる会のみなさんにはピンククリボンねぶたを始め、たくさんのご協力をいただき、部会一同、心より御礼申し上げます。

部会では、「部会で韓国や台湾」「介護施設見学」「乳がんモデル説明研修会」「乳がんリーフレットの改訂」などやりたいことが山積ですが、少しでも実現できるようにしたいです。

海外に赴くのは現状では遠い未来ですが、新型コロナウイルスに負けず、次年度もよろしく願います。

《なるほど!さんかくニュース》

フィンランドに34歳の女性首相誕生

昨年12月、北欧フィンランドに世界最年少の34歳の女性首相が誕生しました。同国では3人目となる女性首相ですが、特筆すべき点は、彼女が母親とその同性パートナーのレインボーファミリーで育ったこと（幼少時、父親のアルコール依存と離婚・貧困を経験）です。

2015年に初当選した後、わずか4年で首相に上り詰めた彼女ですが、国内では「若さ・女性」という点では特に注目されていません。それは、フィンランドの女性議員の割合が46%、国会議員の平均年齢が47歳、ジェンダーギャップ指数が世界3位であることなど、男女平等が進んでいる国として知られ、年齢や性別に関係なく能力を発揮できる社会だからかもしれません。

フラワーデモ

毎月11日、「性暴力をなくそう」と訴える「フラワーデモ」が国内各地で開催されています。きっかけは昨年3月に性犯罪の無罪判決が相次いだことでした。

デモは4月に東京で始まり、月を追うごとに場所や参加者も増え続けています。内閣府の発表では、性暴力を受けても半数以上が誰にも相談せず、警察に通報した人は3.7%にとどまっています。特に、家族から子どもへの性虐待、親しい人からの性暴力は表面に出にくいとされます。被害者の8割は顔見知りで、小さい頃からの被害も少なくないという実態。フラワーデモでは、そんな被害者たちが人前で性被害を語り始め、次々に輪が広がってきました。

★青森ケーブルテレビで放送中「さんかく△すすめ隊」より抜粋

◆総務委員コラム◆



「津軽風景」という油彩画に思いを馳せています。

心象風景を思わせる明暗を内包した深い青の空、地に根を張り花開く鮮やかな野の花と深緑。中央奥に一本の樹がそびえ、やや暗い色調ながらも力強いタッチで描かれた津軽の風景は、描いた女性画家が強く生き抜いた人生が垣間見えるようです。

この絵画を描いたのは青森市出身の橋本花という画家です。その名前からの「花」が描かれた絵が非常に多く、青森県的女流洋画家の先駆者と言われています。明治、大正、昭和と女性画家たちが活躍するには厳しく、困難な時代を生き抜きました。

橋本花は自画像がほとんど無く、自分の意志や感情を花々に投影していたのではと

言われています。世間のみならず家族の理解を得るのも非常に難しかった時代、女性が画家として生きるという決意は、現代の私たちには想像もつかないほどの覚悟だったと思います。

私が彼女の描く、鮮やかで力強いタッチの花に惹かれるのは、花を通して彼女の貫き通した強さや生きざまに焦がれるからなのかもしれません。

今年は雪も少なく、青森でもいつもより早く春の花が開きそうです。しかし新型コロナウイルスやそれに伴う経済や物資の不安など、人々の心は冬のように震えることばかりです。

強く生きることとはとても難しいです。それでも、こんな時だからこそ、心に鮮やかな花を一輪根付かせ、少しでも強く在り続けられたらと思います。

総務委員 今友理華